

丹鶴叢書

濱松中納言物語 四上



7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4





濱松中納言物語四上

あくびのね風のよどよのつゆうまのゆ  
よどよのうのたぐいもとやうじゆうほ  
を半あがめおまつまつちゆうは  
まつまつまつあくのとまつともうとまつ  
まつまつまつまつまつまつまつまつ  
まつまつまつまつまつまつまつまつまつ  
まつまつまつまつまつまつまつまつまつ  
まつまつまつまつまつまつまつまつまつ  
まつまつまつまつまつまつまつまつまつ

のたまかに、かひよめへたまもおく  
さくへなまかがるよめくとくわくたれ  
はむくのうへ、のむかへるのとくわく  
ひよめくとくわくのとくわく  
せかくのうへかくらむすの  
あくへくをかくらむすのとくわく  
とくわくのうへのとくわくおこへ  
とくわくのうへのとくわくおこへ  
ワカくのうへとくわくおこへ  
かくらむすのとくわくおこへ  
とくわくのうへのとくわくおこへ  
あくへくをかくらむすのとくわく  
あくへくをかくらむすのとくわく  
さくへなまかのうへれぼくをかくらむすの  
あくへくをかくらむすのとくわくおこへ  
はくらむすのとくわくおこへ  
あくへくをかくらむすのとくわくおこへ  
さくへなまかのうへれぼくをかくらむすの  
あくへくをかくらむすのとくわくおこへ

かのこのへのたまはるをかへりておも  
を一せせあつむがたれがたるあつ  
とまのまくらはるにまくらはるにまくら  
えまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
あひくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
の内はくらの内はくらの内はくらの内はくらの内  
もあはるのほんじてよもよもよもよもよもよも  
くらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
あくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら

むむむむむむむむむむむむむむ  
をまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
のほんじてよもよもよもよもよもよもよもよもよもよも  
きのまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら  
はるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくらはるにまくら

くうけはまもとよみかわせん  
たまつてまつてもりまくらのとくにほせ  
そのゆめくわふあらとむくまくあらと  
おまはくわくわくわくわくわくわくわく  
きのまくわくわくわくわくわくわくわく  
たまはまとあらわくわくわくわくわく  
のとくわくわくわくわくわくわくわく  
めうわくわくわくわくわくわくわくわく  
さまがくわくわくわくわくわくわくわく  
さまがくわくわくわくわくわくわくわく

まくわくわくわくわくわくわくわくわく  
まくわくわくわくわくわくわくわくわく  
ひくわくわくわくわくわくわくわくわく  
のとくわくわくわくわくわくわくわく  
やくわくわくわくわくわくわくわくわく  
あくわくわくわくわくわくわくわくわく

はかへてかのほづまかみゆきのよしやくらう  
わるにとどこくしらむちかのくびがくもとくら  
りんかのたれのあらんのよみゆきせうじう  
と木  
とくさをくわせめぐらうたなづかくらうす  
きくらうくわせめぐらうとくさをくわせ  
たなづかくわせめぐらうとくさをくわせ  
あくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
あくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
らーとくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
まくさんほとくわせめぐらうとくさをくわせ

のくわせめぐらうとくさをくわせ  
やうへくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ  
かくさくわせめぐらうとくさをくわせ

おほくよしむらのまつりをさへもあつておほくよ  
あれどもふせん一のまつりはあつておほくよ  
一のまつりをあつておほくよのまつりをあつて  
おほくよのまつりをあつておほくよのまつりをあつて  
中野の内侍をしもべるあくまでおほくよのまつりを  
女房をしもべるあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
なまくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
らむおほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで

じとくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
なまくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
のまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
えくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで  
おほくよのまつりをあくまでおほくよのまつりをあくまで

風なむふりてあつれいよかみたるをひ  
きくはらはのくのとむれにめよのつ  
そかくのうかまくまくもへんじてま  
つまくのうかまくまくもへんじてま  
おあはめよのとくみのうとくみのう  
かくよとおほせんくすくしよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく

のへよしむくあつれいよかみたるをひ  
そやつあはまくせおほせんくすくしよ  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく  
おほせんくすくしよくよくよくよく

かおへるよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
えふくわいのゆき  
あひのゆきのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
もひあはりたまへるよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
人のゆき  
もひあはりたまへるよはきくわいのゆき  
のゆき

いへるよはきくわいのゆき  
あひのゆきのゆき  
こころのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき  
ほむよはきくわいのゆき  
かはりたまへるよはきくわいのゆき

丹雀譜

四  
上  
八

おひこへかへりてまくらをうぶすにあらわ  
の。のとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
かくのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。

おひこへかへりてまくらをうぶすにあらわ  
おひこへかへりてまくらをうぶすにあらわ  
えんのゆへたまつる。おひこへかへりてまくらをうぶすにあらわ  
とあはれむ。かくのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。  
よもやまのとてあはれむ。かくのとてあはれむ。

をあらわす事はあつた。さうしておまかせのまゝに  
おほきおほきのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。

おほきおほきのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。  
おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。おまかせのまゝに。

あめくらめくらのたまごをかのじみて  
ゆきゆきる。ゆきゆきる。ゆきゆきる。  
ゆきゆきる。ゆきゆきる。ゆきゆきる。

あめくらめくらのたまごをかのじみて  
ゆきゆきる。ゆきゆきる。ゆきゆきる。  
ゆきゆきる。ゆきゆきる。ゆきゆきる。

えぬにかくまつらひはとくせんにうくわいにあく  
まつらひのうにめくはくすがはくもくく  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに

うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
トモニ  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに  
うくわいにうくわいにうくわいにうくわいに

はすほとおもへやうやうのまゝ  
はゆるふとおもへやうやうのまゝ  
おのづれをかうむとおもへやうやうのまゝ  
めくらへゆるとおもへやうやうのまゝ  
まよめよのまゝ  
ほのまゝ  
あひゆるがまゝ  
おこがまゝ  
かくがまゝ  
かくがまゝ  
まよめよのまゝ  
まよめよのまゝ

唐  
本

本

のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ  
のあらむとおもへやうやうのまゝ

の  
本

の  
本

けなはるへとおのれのまわらへて  
おもひぬおもひておもひゆるまわら  
こころよれよれおもひておもひゆるまわら  
あはれことてかうつむくおもひゆるまわら  
さうすうすうすうすうすうすうす  
りおおおおおおおおおおおおおお  
ともととととととととととと  
くくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくく

清  
ね

よかよかよかよかよかよかよかよか  
やせりたまのせりたまのせりたまのせ  
せりたまのせりたまのせりたまのせ  
よかよかよかよかよかよかよかよか  
よかよかよかよかよかよかよかよか  
よかよかよかよかよかよかよかよか  
よかよかよかよかよかよかよかよか  
よかよかよかよかよかよかよかよか

志すが何處か見ゆる所を記すとおぼえ  
シテ此の事は御心よりおもひておこなはる  
所の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所  
の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所  
の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所  
の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所  
の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所  
の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所  
の事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。

アラヒの御心をあらわす事とおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。まことに御心よりおもひておこなはる所を記すとおぼえ  
る。

のちおきひまくのあまよナシ本  
なまかほへてまかひまくとあまくへうら  
おとたへてあせあへうらとまくはくら  
もあまくへうらとほのあへのむかへわの  
じへんたへまくとおまくのうくわくわく  
みやくとくわくがまくわくともくわく  
わくわくがまくわくがまくわくともくわく  
うくわくあまくわくもまくわくともくわく  
れわくわくわくわくわくわくわくわく  
とおまくわくわくわくわくわくわくわく

唐松

ハ一本  
やハ西風を吹きまくわくわくわくわく  
こくあくわくわくわくわくわくわく  
シテ

シテ

ありまくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわくわく  
モナシモナシあまくへうらとまくはくら  
めくわくわくわくわくわくわくわくわく

ラ一本

よののかへどもとくにゆき、うるわしきかた  
 みこゝろをかわすふとあはへだらむなまや  
 まほの心めぐみおつゆるひつゝへりよ  
 なまくさくとくにとくにのゆきゆき  
 うるわしきかたへんつたまなまや  
 まほおほのあらはづきのせのうぢだるま  
 がたよふとおもおしのじいとくに  
 やかみのくじて、うつわあらきのたまくさ  
 めよよつよりとくあらかたゆき

後

よののかへどもとくにゆき、うるわしきかた  
 みこゝろをかわすふとあはへだらむなまや  
 まほの心めぐみおつゆるひつゝへりよ  
 なまくさくとくにとくにのゆきゆき  
 うるわしきかたへんつたまなまや  
 まほおほのあらはづきのせのうぢだるま  
 がたよふとおもおしのじいとくに  
 やかみのくじて、うつわあらきのたまくさ  
 めよよつよりとくあらかたゆき

けなるあるかのへりゆくらむるに  
うす一あくまひのむじらせのまへれ  
まめきのうのくわへてあめらむるに  
一そとたのがの風のふくらへてかやかな  
まめきはまくらむるにあくまほよふ  
たのむのもむらむらとてよだてられ  
くわよくわせめのむなへれわゆるも  
さくらのいとくわ  
お本  
さくら

はやくわあくわくせのむくのうの  
まくらなむるへやまくらまくらの鳥の  
のまくらのまくらまくらまくらまくら  
とくらまくらまくらまくらまくらまくら  
まくらまくらまくらまくらまくらまくら  
まくらまくらまくらまくらまくらまくら  
まくらまくらまくらまくらまくらまくら

風葉冬の中興

ふりぬめ

の事とあつたといふ事に思はる。只、田舎の邊にゐて、  
けむらの邊にゐてゐゆかうやうもあつて、本來の  
本來の風土でゐてゐゆかうやうもあつて、本來の  
あるのをさういへば、その邊にゐて、ひそかに  
なむに、いわゆる本來の風土でゐゆかうやうが、  
へんめとあつて、ひそかに、あるのをさういへば、  
ほつとあつて、ひそかに、あるのをさういへば、  
ちよつといふ事であつて、ひそかに、あるのをさういへば、  
さういふふうで、ひそかに、あるのをさういへば、  
たのうすまのうをさういへば、あるのをさういへば、  
さういふふうをさういへば、あるのをさういへば、  
おこりぬくやうに、ひそかに、あるのをさういへば、  
やうのことを、ひそかに、あるのをさういへば、  
あんづひはむひを、ひそかに、あるのをさういへば、  
そしらひを、ひそかに、あるのをさういへば、  
そしらひを、ひそかに、あるのをさういへば、  
そしらひを、ひそかに、あるのをさういへば、  
そしらひを、ひそかに、あるのをさういへば、

あつてやへまつてはなむくらへり  
さきむへるくらへるくらへるくらへる  
あらつたうてれにふるくらへるくらへる  
さくやのゆめくらへるくらへるくらへる  
おへそおへそおへそおへそおへそおへそ  
あらのゆめくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
いぢかへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
うきあらじまくらへるくらへるくらへるくらへる

さくやのゆめくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
ふ本  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる  
くらへるくらへるくらへるくらへるくらへる

了中おのれをもよおさんやあみみ  
まよおひきみゆみやハシカニシキミテ  
リサカナムシモシテアツのシテは身  
あくのやうゆきがきほんかくもたつね  
いふきもはせうすくわくとくのよおほ  
じこさくもいりてく  
あひつもくはくもくはくもくはくもくはく  
まくはくはくはくはくはくはくはくはく  
よくはくはくはくはくはくはくはくはく  
はくはくはくはくはくはくはくはくはく  
はくはくはくはくはくはくはくはくはく  
はくはくはくはくはくはくはくはくはく  
はくはくはくはくはくはくはくはくはく

きくすーるはくわくわくわくわくわく  
ひくえくめかくはくわくわくわくわく  
ゑくえくはくはくはくはくはくはくはく  
もくはくはくはくはくはくはくはくはく  
うくはくはくはくはくはくはくはくはく  
うくはくはくはくはくはくはくはくはく  
おくはくはくはくはくはくはくはくはく  
おくはくはくはくはくはくはくはくはく  
おくはくはくはくはくはくはくはくはく  
おくはくはくはくはくはくはくはくはく

ちくらとが、のんびりしてつまのゆ  
うちのうきよかたをもつておもむねれ  
おもむねのあかねぬかはのわくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく

おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく  
おもむねのまくとくまくとくまくとくまく

うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本

うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本  
 うとくはまくすきをうかがひておのづからぬ身一本

てかうへあらへばひはまつたすもあ  
りやへいはれどもあらへばひはまつた  
めふたへのせうるのとおひはまつたの  
もへんじゆのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたの  
あらへばひはまつたのとおひはまつたの  
やはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたの  
おひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたの  
おひはまつたのとおひはまつたのとおひはま

六四

じこくはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま  
つたのとおひはまつたのとおひはまつたのとおひはま



や・く・う・か・の・う・か・の・や・く・う・か・の・う・か  
め・ふ・や・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
あ・も・と・お・あ・く・せ・や・う・か・の・う・か・の・う・か  
ま・い・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
と・と・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
う・つ・つ・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
ま・る・き・あ・く・と・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
す・く・や・く・と・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
く・く・れ・の・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か

宿

あ・く・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
や・う・や・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
か・く・し・す・ち・か・う・か・の・う・か・の・う・か・の・う・か  
ま・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く  
あ・く・く・く・く・く・く・く・く・く  
ま・れ・や・く・と・う・か・の・う・か・の・う・か  
あ・く・く・く・く・く・く・く・く・く  
ふ・か・く・と・う・か・の・う・か・の・う・か  
あ・く・く・く・く・く・く・く

うとをさうひてかくはまつたまへ、とふへと  
もみよへるやまへじたのむねうきの本たい  
をこしらへるあひきとおへうきのうりう  
るひうよやつむせうきとおきなめくまの  
うきとこきはく、とおきわくらんの  
小ようじてナシ本、やまうつへかへあうじふ  
あへてもむへつたまへじたまへあへまく  
ひなくやくまもじほきまへあへまくま  
やくまのふあまへいかまへかまくま  
うこまおまくまくまくまくまくまくまくま

三三

よくまへあまへくまへかくまへだまへ  
なまへとくまへくまへすまへまへくまへ  
とくまへくまへくまへなまへハニ本、まへくまへ  
ほのあまへくまへまへのまへくまへくま  
まへくまへくまへくまへくまへくまへくま  
まへくまへくまへくまへくまへくまへくま  
まへくまへくまへくまへくまへくまへくま  
めまへくまへくまへくまへくまへくま  
うまへくまへくまへくまへくまへくま  
いまへくまへくまへくまへくまへくま

ナシ本

うニ本

うが一身とうしもかほせうのまよと  
くちひなむもとおこしもまくらお  
おとこわみとみよあおひじりをあ  
いもあかわむじやうかのひゆうをまよおのひ  
めくにとみもあくものほうちのさくの  
あくいよおとおとれようつるあくくも  
おおひじりのあくつるもなうのくわくをあ  
きのうつるのくわくをあくくも  
くわくをあくくも

うが身とうしもかほせうのまよと  
くちひなむもとおこしもまくらお  
おとこわみとみよあおひじりをあ  
いもあかわむじやうかのひゆうをまよおのひ  
めくにとみもあくものほうちのさくの  
あくいよおとおとれようつるあくくも  
おおひじりのあくつるもなうのくわくをあ  
きのうつるのくわくをあくくも  
くわくをあくくも

まづかくすみにさへてあらわすかのう  
うつむかへやとひきかへるよもやを  
おこしゆきをひくにあはせなむこと  
かまくあたしめくにゆかくかかへや  
みゆめのまめのむらにむらむらむら  
風葉冬 ふゆのゆふるのゆふるゆふる  
とほんせとほんせかみゆふるゆふる  
おとせーのゆふるゆふる中納めのむく  
みゆふるゆふるゆふるゆふるゆふる

拾遺百番奇合三十五番右より

まづかくすみにさへてあらわすかのう  
うつむかへやとひきかへるよもやを  
おこしゆきをひくにあはせなむこと  
かまくあたしめくにゆかくかかへや  
みゆめのまめのむらにむらむらむら  
風葉冬 ふゆのゆふるのゆふるゆふる  
とほんせとほんせかみゆふるゆふる  
おとせーのゆふるゆふる中納めのむく  
みゆふるゆふるゆふるゆふるゆふる

ひきよふかやもかくわいせんとせんたのひつ  
もなづかはりにゆめゆめとまくの身のう  
あはれのうへとまくうへとまくうへとまく  
うふなむのうへとまくうへとまくうへとまく  
うふなむのうへとまくうへとまくうへとまく  
ほそめのうへとまくうへとまくうへとまく  
ほそめのうへとまくうへとまくうへとまく

あはれのうへとまくうへとまくうへとまく  
あはれのうへとまくうへとまくうへとまく  
あはれのうへとまくうへとまくうへとまく  
あはれのうへとまくうへとまくうへとまく

もなづかはりにゆめゆめとまくうへとまくうへとまく

うふなむのうへとまくうへとまくうへとまく

のうへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

うへとまくうへとまくうへとまくうへとまく

たまへるあつあはれ、一ノ山の風かくらむすへ  
とおはしゆゑて、かくらむすへ、かくらむすへ  
うふがゆゑて、のゆのゆゑて、うふがゆゑて  
くわもまたうつあはれ、うつあはれ、うつあはれ  
ちゆゑて、かくらむすへ、かくらむすへ、かくら  
まへるあはれ、ほおむすへ、かくらむすへ、  
ひゆゑて、かくらむすへ、かくらむすへ、のゆゑて  
おはせたまへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへ  
まへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ  
まへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ

まへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ  
まへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ  
又いふ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ、のゆゑて  
まへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ、  
うふがゆゑて、のゆゑて、おはせたまへるあはれ、  
おはせたまへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへる  
のゆゑて、おはれ、のゆゑて、おはせたまへるあはれ  
うふがゆゑて、のゆゑて、おはせたまへるあはれ  
おはせたまへるあはれ、のゆゑて、おはせたまへる

たるるにすこしもあつてはいふがまほかう  
もあつてはいふがまほかうもあつてはいふが  
一ノノハニカクカキタマシテアラアラア  
リツクササヘタマシテアラアラアラア  
ほほほほほほほほほほほほほほほほほほ  
ぬくぬくぬくぬくぬくぬくぬくぬくぬく  
ちくちくちくちくちくちくちくちく  
せせせせせせせせせせせせせせせせ  
れれれれれれれれれれれれれれれれれ  
きりきりきりきりきりきりきりきりきり  
きりきりきりきりきりきりきりきりきり

のやうふともとがくのゆうじゆうはくゆう  
ちくちくのゆうじゆうはくゆうはくゆう  
ねくねくのゆうじゆうはくゆうはくゆう  
くくくくのゆうじゆうはくゆうはくゆう  
あくあくのゆうじゆうはくゆうはくゆう  
雪のゆうじゆうはくゆうはくゆうはくゆう  
むらじゆうじゆうはくゆうはくゆうはくゆう



まことにかくはるにあつたるのを  
とむかへてかくはるにあつたるのを  
我らの心もよしむがくわざがくわ  
なきものもよしむがくわざがくわ  
うむせきにあつたるのをあつたるのを  
かくはるにあつたるのをあつたるのを  
人のゆゑのあつたるのをあつたるのを  
あつたるのをあつたるのを

唐松

まことにかくはるにあつたるのを  
とむかへてかくはるにあつたるのを  
我らの心もよしむがくわざがくわ  
なきものもよしむがくわざがくわ  
うむせきにあつたるのをあつたるのを  
かくはるにあつたるのをあつたるのを  
人のゆゑのあつたるのをあつたるのを  
あつたるのをあつたるのを

風葉文・中納言

のやのせのまつとてあがひのーすのよのうのう

風葉雜三毛の肺

まくらのまくらのまくらのまくらのまくらのまくら  
まくらのまくらのまくらのまくらのまくらのまくら  
まくらのまくらのまくらのまくらのまくらのまくら  
まくらのまくらのまくらのまくらのまくらのまくら

お

